様式第２号（第４条関係）

豊明市行政評価制度　「事務事業」評価票

一般事務事業（○）	経常事務事業	建設事務事業

● 第５次行政改革大綱第１次アクションプランとの関連	
□ 有 ☑ 無	

１■事務事業の概要

１－１事務事業の名称	美術品展示場所の確保事業							
１－２担当	部	教育部	課又は施設	文化会館	係	文化振興係	評価票作成者	文化振興担当係長　加納　晃

１－３総合計画における施策の体系	①節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」	③基本施策	文化・芸術活動	コード	4—1—2
			④単位施策(中)	文化施設の充実	コード	4—1—2—3
	②項	生涯学習の推進	⑤単位施策(小)	美術品展示場所の確保	コード	4—1—2—3—1
１－４事務事業の目的の精査	対象と対象の数	展示場所の確保	意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）	常時展示することによって、一般市民に楽しんで頂く。		
１－５事務事業の内容	文化芸術（絵画、書）等を常時展示する。また、定期的に展示物の飾り替えを行う。					

２■事務事業実施の状況

		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
２－１事務事業の実施における基本認識	平成18年度	年に一度或いは定期的に展示物の飾り替えを行う。	空きスペースを利用した美術品の展示が必要。	絵画だけでは無く、いろんな分野の美術品の展示が望まれる。
	平成19年度	〃	〃	〃
	平成20年度	本庁舎一階部分に展示箇所を確保し、二ヶ月に一度展示品を取り替える。	市役所への来庁者に美術品を見学して頂く。	絵画だけでは無く、写真等の展示も行う。
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

	事務事業成果指標名	前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
２－２総合計画における単位施策成果指標	美術品の展示場所	2(ヶ所)	2(ヶ所)	文化会館及び市役所の中の美術品の展示場所を表す指標

２－３成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	活動実績 a（単位）	２（ヶ所）	２（ヶ所）	２（ヶ所）							
	直接事業費 b（千円）	0	0	0							
	人件費 c（千円）	670	334	334							
	合計コストd（b＋c）（千円）	670	334	334							
	単位コスト d／a（千円）	展示場所 当たり　335	展示場所 当たり　167	展示場所 当たり　167	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 →

直接事業費は、美術品の展示に当たるだけであるので０円となる。人件費は、係担当の年度内の関わりから0.1人の0.5として算定した。6,673千円*0.1*0.5=334千円

		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
２－４成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績（ヶ所）	2	2	2							
	後期目標値に対する達成度（%）	100.0	100.0	100.0							

３■事務事業の自己評価結果

３－１　評価結果(アウトカム自己分析)		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	単年度担当課評価	A	A	A							

● ４段階評価結果
A ： 上位目的である施策に貢献しているので継続する
B ： 事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
C ： 縮小等、事務事業としての見直しが必要
D ： 事務事業の廃止が相当

● 判断の基準
①必要性（必要な事務事業であるか）
②公共性（公が実施する意味があるか）
③妥当性（ニーズに対して投入が適正か）
④効率性（結果に至る活動に無駄はないか）
⑤有効性（活動の結果が上位の目的に貢献しているか）
⑥市民満足度（事務事業が対象にしている市民を満足させているか）

		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
３－２評価の内容	平成18年度	美術品展示にかかる空きスペースの確保。	展示する美術品の確保。	定期的に展示物の飾り替えを行った。
	平成19年度	〃	展示する美術品の確保のため、文化協会に協力を得る。	〃
	平成20年度	本庁舎一階部分に展示箇所を確保し、二ヶ月に一度展示品を取り替える。	展示する美術品の確保のため、文化協会及び諸団体に協力を得る。	〃
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

４■事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
４－１総合評価の結果	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度	A	継続して事業を進めること。
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		